

ゆいあい

2022

発行責任者
地域医療センター長
副院長 中島 隆之



理事長 佐々木 達哉
病院長

理事長年頭挨拶

令和4年も、新型コロナウイルス感染症が変異しながら猛威を振るうという幕開けになっております。特に小児関連・高齢者施設での広がりや想定を超え、あらゆる感染対策手段を講じて立ち向かわなければならぬ状況です。新年というには遅くなりしましたが、最近のトピックをご紹介します。今年の抱負とさせていただきます。当院では新型コロナウイルス感染が疑われる患者さんには、PCRに代表される核酸増幅法の一つであるNEAR法を用いた診断機器を導入し、迅速（約15分）で精度の高い検査を行うております。抗原検査は簡便で有症状の患者さんの診断には有用ですが、無症候の場合の感度・特異度は低く、一定の偽陽性・偽陰性があるため当院では基本的にはこの方法を用い、確実な感染対策を立てています。

また昨年、病院機能評価機構の更新審査を受け、中間報告ではあります。地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療機関施設等と適切に連携しているという評価も得られています。比較評価も秀でていたという評価もいただきました。これはとりも直さず、患者さんを紹介していただき、退院調整にも協力していただき、施設が持っている医療機能・設備がより感謝申し上げます。さらに、この1年をかけて電子カルテの導入などの、情報デジタルトランスフォーメーション（DX）の準備を行いました。院内のみならず、地域包括ケアシステムの向上に役立つ体制にしたと思っています。今年が皆様にとって意義のある1年であることをお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。



当院では最先端かつ最適な歩行リハビリテーション機器を導入し、脳卒中などの患者さんに実施することで従来の歩行負荷量を効率的に増やし、歩行能力の獲得につなげることに取り組んでおります。



リハビリテーション技術部の新たな取り組み
脳卒中の高負荷高頻度リハビリテーション
「トレッドミル歩行トレーニング」

歩行用リハビリテーションシステム
Motek Medical 「C-Mill VR+」

リハビリテーション科
ホームページQRコード

Instagram
毎週金曜日更新
ID:yuaireha

「日本一おいしい病院食」を目指す食養課

身体に、栄養を！
患者さんをサポート。



食養課
ホームページ



食養課の取組み
ブログ・行事食
をご覧ください

毎日のリハビリで鍛えた
「食事で作る」食養課が栄養学から入院

栄養×リハビリ



POWER 食

リハビリテーションを頑張るみなさんへ

献立内容 たんぱく質エネルギー強化

- 主菜大盛り
※献立内容によって別対応になる場合有
- パワーライス
※主食にMCTオイル+メイプロテイン追加
- 高たんぱく質ゼリー追加(昼)
※当院オリジナル

患者さんがリハビリを取り組む上で栄養管理は非常に重要です。当院はリハビリ目的での入院も多いことから、昨年9月より「パワー食」の提供を行っており、栄養量、バランス、内容においてもパワーライスや当院オリジナル高たんぱくゼリーなど筋肉をつける為に治療の一環となる食事を提供しております。

当院の食養課は病院独自の「治療食栄養食事基準」を設定し、治療に特化した個別の献立作成と栄養管理を行っています。患者さんの病院食というイメージは、「味が薄い」、「内容が質素」、「量が少ない」などマイナスなイメージを持たれている方もいらっしゃるかと思いますが、栄養バランスは当然ながら、美味しく、目でも楽しめる食事を心がけ、管理栄養士と調理師が一丸となって食事サービスの向上を目指し、日々努力しています。

パワー食の提供始めてから現在まで24名(月平均4名)の対象患者さんに「パワー食」の提供を行っており、「早く良くなりしたい」、「筋肉量、体重を増やしたい」という意欲が高い方が多く、組成測定結果を見ても筋肉量が増加している患者さんが多い印象です。



緩和ケア病棟について

緩和ケア病棟は、患者さんのからだ、心のつらい症状を和らげると共に、患者さんが望む日々をその人らしくすごせるよう患者さんとそのご家族を支える病棟です。

また、医師、看護師をはじめ、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどが一緒に緩和ケアを提供します。

緩和ケアチームでは、がん患者さんやそのご家族が直面している問題や葛藤への支援だけでなく、がん以外の疾患の患者さんやそのご家族に対しても、心身共にによりよい状態で療養できるように多職種でサポートしています。

終末期にかぎらず、診断時や治療の早い段階から緩和ケアチームが介入し、疾患に伴う様々な苦痛を緩和しながら、その人らしく生きることを支えるという視点でチームアプローチを行っています。

また、各病棟では、緩和ケア委員がリンクナースとして活動しており、緩和ケア相談用紙を活用し、病棟でのケアなどについて、緩和ケア相談専門看護師や緩和ケア認定看護師によるコンサルテーションを行っています。

さらに緩和ケアに関する症例検討や院内外の医療関係者の方々に向けに研修会を行っています。

患者さんやそのご家族に対して、可能な限り質の高い治療・療養生活を送れるように、多職種で連携しながらチームアプローチを行い、最期の時まで寄り添い、支援できるように努めています。



緩和ケア病棟紹介
ホームページQRコード

医療法人友愛会
盛岡友愛病院

〒019-6368 盛岡市山王12-10
TEL 019-636-2222 FAX 019-637-3790

診療日時：診療科ごとに曜日、時間が異なりますので、お電話・病院ホームページ等でご確認ください。

休診日：日曜日、祝日、年末年始
（盛岡記念病院(55分圏内)併設)
土曜日午後(緊急・救急対応)

URL: <http://www.yuai.or.jp/>

交通のご案内

- バス 岩手県交通 南インター線(15分) 盛岡駅西口(盛岡友愛病院)下車
- 電車 盛岡駅より徒歩約10分(盛岡駅西口)
- 車 盛岡インターより約10分
- 徒歩 盛岡駅より徒歩約15分
- 駐車場 200台程度(無料)